

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
23	福永 意人（1）	<p>1. 実践的な防災訓練・教育等を通じた地域防災力の強化について</p> <p>本市は様々な災害発生リスクを有している。近年では記録的な集中豪雨等に伴う冠水、浸水被害が相次いでおり、南海トラフ地震発生時には津波被害を含む甚大な影響が予測され、富士山の噴火にも備えが必要な地域である。今日まで富士市地域防災計画、富士市業務継続計画等の策定・改定により、有事の際には迅速かつ適切に行政機能が働くように防災危機管理対策が整備されてきた。しかし、防災講座等による市民への啓発活動、学校における防災教育の推進、各地区における実践的な防災訓練等、自助や共助を高めるための取組が十分であるとは言い難い。また、災害時要配慮者への支援方法、女性等の多様な視点に基づく防災対策についても、さらなる検討が必要である。そこで、以下6点について質問する。</p> <p>(1) 市民の防災意識向上のためにどのような取組をしてきたか。</p> <p>(2) 自主防災組織における女性役員の割合はどのぐらいか。</p> <p>(3) 各避難所における避難所運営訓練の実施状況はどうか。</p> <p>(4) 地域における担い手や率先避難者を育成するために、学校の防災教育において外部人材を活用したり、災害図上訓練（DIG）等を積極的に実施したりすべきと考えるがどうか。</p> <p>(5) 個別避難計画（災害時ケアプラン）作成を促進するために、具体的にどのような取組をしていくか。</p> <p>(6) 令和5年11月1日に配信開始された防災アプリ「防災ふじ」の周知啓発、利活用促進をどのように実施していくか。</p>	市長 教育長 及び 担当部長